

# cIDf活動の総括

7/15/2005  
第10回総会



## 発足

- 各デジタルコンテンツごとにユニークな識別コード(“コンテンツID”)を付与することにより、著作権を保護しながらデジタルコンテンツのネットワーク流通を促進する枠組みの策定とその普及を目的とし、1999年8月4日に、東京大学安田浩教授の提唱により発足。



# コンテンツIDとは？

- 流通コンテンツを特定するために、そのコンテンツに一意的に付与される識別コード、コンテンツID(cid)により、コンテンツそのものと、種々のコンテンツ属性情報(メタデータ)とが、ユニークに特定されるデジタルコンテンツのためのバーコード

# cidfの活動

1. 全てのデジタルコンテンツを識別するためのID(コンテンツID)付与の枠組みの提案
2. コンテンツIDを用いたIPM(知的財産権管理)モデルの作成
3. IDの具体的使用方法, 管理方法の創案
4. 日本国内での普及・啓蒙
5. 国際標準化, 国際標準との整合化

# コンテンツ流通の発展ステップ

- ステップ1 : デジタルコンテンツの属性情報の特定方法(コンテンツIDによる識別)が共通化
- ステップ2 : 契約内容が共通言語で表現可能
- ステップ3 : 共通言語で記述されたイベントが, 通信機器・家電/オフィス機器等で記述通りに実行制御
- ステップ4 : 共通言語で記述された契約内容が, その実行制御を裏付けにして市民権を得, 遅れて法律的地位が認知
- ステップ5 : 電子的権利の流通が発展

第10回 cIDf総会



(CIDf仕様書2.0版 2.2.3項)

(C) Copyright 2001 - 2005, CIDf

5

# イベント一覧 (1)

1999年	8月4日	コンテンツIDフォーラム発足(7社)	2000年3月/ TVAFへ 技術提案・リエゾン
	10月25日	第1回CIDf 国際シンポジウム (東京)	
2000年	2月	東大歴史博物館での実証実験スタート (実験用コンテンツID発行開始)	2000年3月/ MPEGと リエゾン
	3月13日	CIDf オープンシンポジウム (CIDf仕様書第1.0版の出版)	
	9月5-6日	コンテンツマネジメントフォーラム(CMF)2000 →多数にコンテンツIDの認知を得る	
	10月	ビットバレー実証実験スタート(TAO/総務省)	2000年7月/ 韓国訪問
	10月20日	CIDf-インダストリアルフォーラム(CIDf-IF)発足	
2001年	2月	B-BATにて, 世界初のCIDベースの著作権管理システム運用開始	
	3月	ISO/MPEG-21におけるデジタルアイテム識別標準にCIDを提案	
	4月20-21日	第2回CIDf 国際シンポジウム (アメリカ, ロサンゼルス)	2001年7月/ IDFと 共同記者発表 IDFでの講演
	5月-11月	ISO/MPEG-21の複数識別子間相互流通コア実験を主管	
	8月	CID利用コンテンツ管理技術に関するTAO委託研究開発の受託(NTT東日本)	
第10回 CIDf総会	10月17日	CIDf仕様書第1.1版の出版	2001年12月/ SMPTEと リエゾン

第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, CIDf

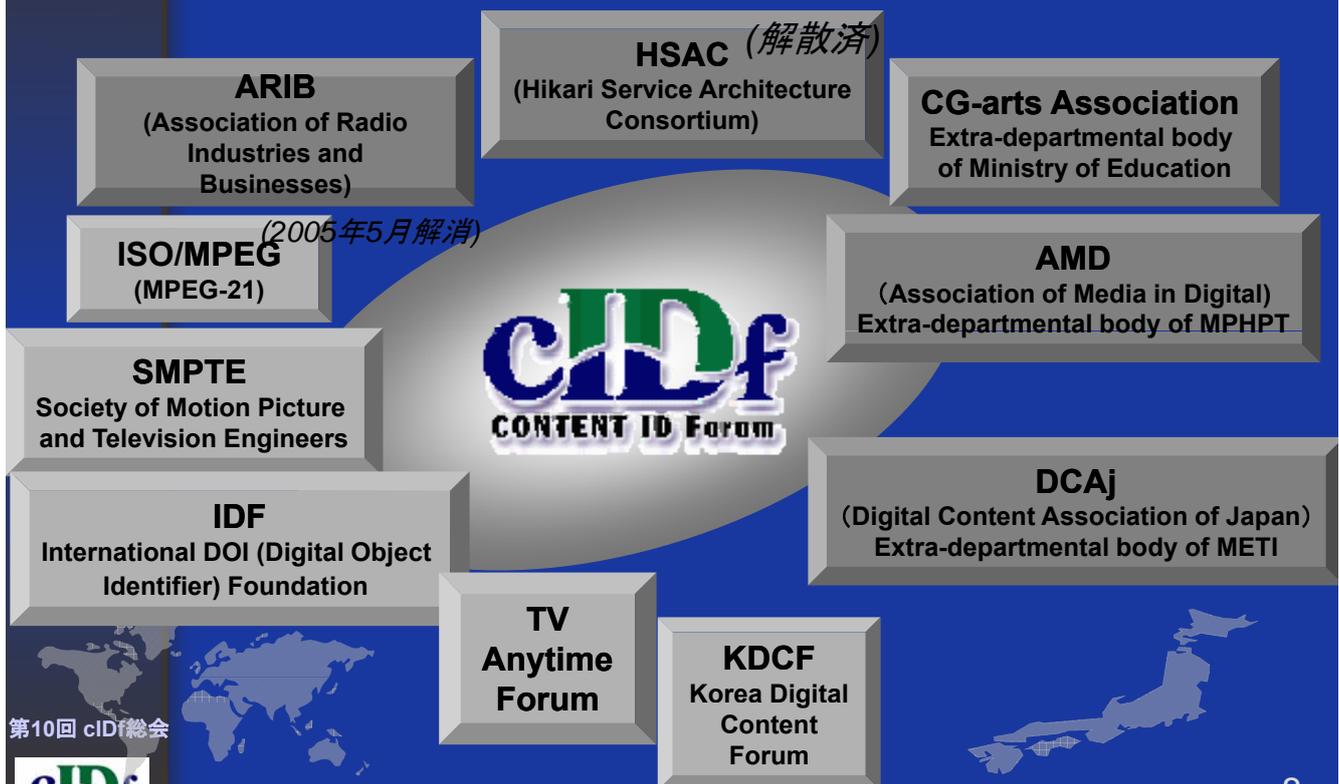
6

# イベント一覧 (2)

2002年 2月	cID-RA実証実験 (IPA/経済産業省によるe-Japan戦略のさきがけ)	
6月	SMPTE委員会においてcIDがコンテンツ流通段階に付与する識別子として認知	2002年8月/台湾訪問
9月10日	cIDf仕様書第2.0版の出版	
10月-03年3月	コンテンツID統合プロジェクト実証実験 (IPA)	2002年10月/IFTAにて講演
2003年4月1日	MPEG-21においてcIDを含むデジタルアイテム識別の国際標準 (ISO/IEC 21000-3)発行	
6月	「ポイント図解式 コンテンツ流通教科書」(アスキー)出版	
6月	第I期の活動終了を決議 (第9回cIDf総会)・・・標準仕様策定→利用促進・普及	
7月	(財)デジタルコンテンツ協会(DCAj)によるRAの正式運用開始	
2004年 6月 (リリース)	総務省による汎用メタデータ体系 (J/Meta2.0)への採用	
第10回 cIDf総会	～現在 各種アーカイブス等への適用	

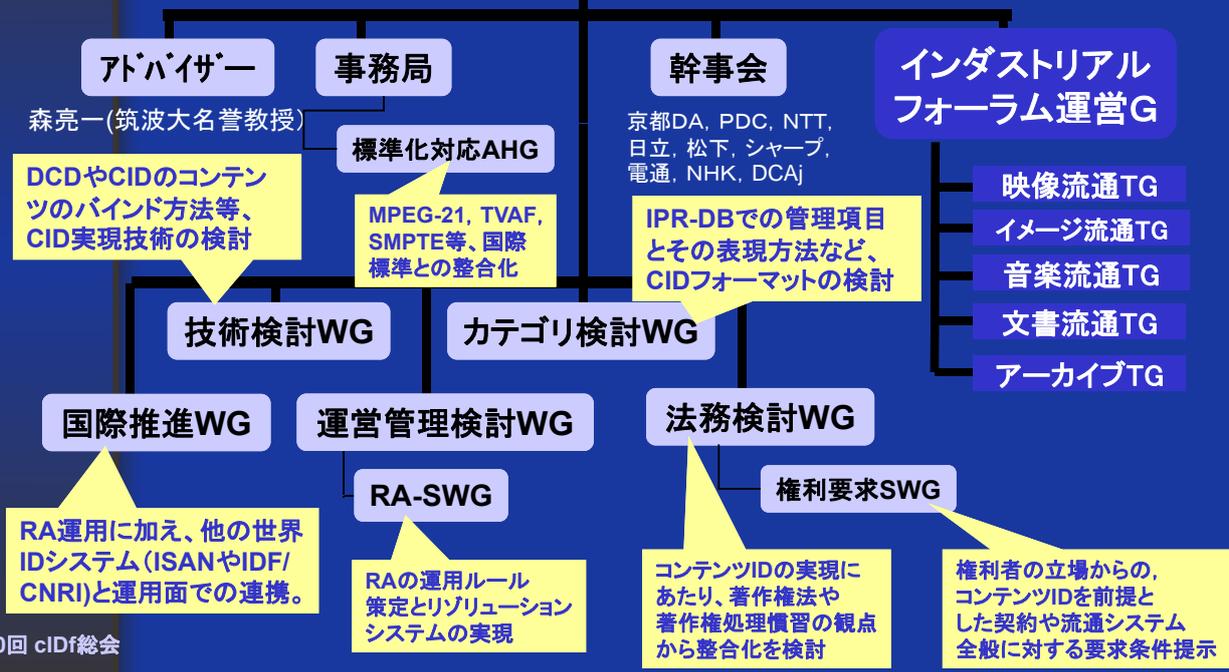


# 外部提携団体



# cIDfの組織構成 2001年10月

会長 安田浩(東大)



第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

# cIDf会員 213団体 2003年2月14日

- 大学・協会: 東京大学, 社団法人日本映像ソフト協会, 社団法人電子情報通信学会, 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター, 京都デジタルアーカイブ研究センター, デジタルアーカイブ・アライアンス事務局, (財)デジタルコンテンツ協会, (財)画像情報教育振興協会, (社)デジタルメディア協会, (株)国際情報科学研究所, 中四国デジタルアーカイブ推進協議会, (社)日本映画製作者連盟, (財)ソフビージャパン, 早稲田大学国際情報通信研究センター, (社)日本映画テレビプロデューサー協会, 日本映画学校, (社)日本文藝家協会, (社)コンピュータソフトウェア著作権協会, NPO法人ハワードエイジ協会 (PPA), 山形映像アーカイブリサーチセンター, 新エネルギー産業技術総合開発機構, 総務省郵政研究所, 山形県マルチメディア開発推進協議会, 大阪工業大学, (社)音楽電子事業協会
- 放送業者: (株)WOWOW, (株)フジテレビジョン, 日本テレビ放送網(株), (株)東京放送, 全国朝日放送(株), 日本放送協会
- サービス業: NTT番号情報(株), (株)ビデオリサーチ, (株)電通, NTT移動通信網(株), NTT西日本, NTT東日本, NTTビジュアル通信(株), NTT, 漢和商事(株), (株)ユーカード, (株)アイ・ティ・ジー・ジャパン, (株)ユニーク, (株)NTT-ME, クロスワン(株), 日立電子サービス(株), エム・シー・エム・ジャパン(株), 日本ユニシス(株), (株)インフォシティ, デジタルライツ(株), グラフィックジャパン(株), 丸紅リノベーション(株), (株)サイバーファーム, (株)メディアグループ, ケーブル・アンド・ワイヤレスIDC(株), NHKソフトウェア(株)ピーパット企画, (株)ビデオリサーチコムハウス, 住友商事(株), (株)アットマーク, (株)ナレッジワイヤ, (株)NHKエンタープライズ21, 情報ハブ(株), (株)ワールドトラックスメディア・ジャパン, アクセラ(株), 外ロアクセス(株), アクセンチュア(株), Kリノベーション(株), ジェニスタ, 名鉄エージェンシー, (株)アサツーディ・ケイ, NTT USA, Inc., 千代田テクノロジー(有), (株)アナマ, (株)インテジャアイドック(株), ID-Sign, Lab マルジェフ・シヨウカイ, (株)電通国際情報サービス(有) エーアンドアーツ(株) マークエニー・ジャパン, 日本電気システム建設(株), 三菱商事(株), (株)J-Stream, エルティンジャパン(株), (株)KDDIテクノロジー, 関西電力(株), (株)デジタル・ミュージック・ラボ, パーソナルメディア(株), アラン(株), ベリマトリックス・ジャパン(株), (株)ゼンリンデータコム, (株)ソフビ, 日本バイ・ティ・アール(株), (株)シーアンドイー, (株)レントラックジャパン, サードネットワークス(株), CBS情報報, UNDL ファウンデーション東京, (有)ミュージック, (株)エムズ・コレクション, (株)電通フーズ
- 電気・計算機メーカー: 三菱電機(株), 日本電気(株), (株)日立製作所, 松下電器産業(株), 日本ビクター(株), 富士通(株), シャープ(株), セイコーエプソン(株), 沖電気工業(株), ヤマハ(株), (株)東芝, サンヨーシステムズ(株), 横河電機(株), パイオニア(株), 日本SGI(株), ソニー(株)
- SI/ソフトウェア: NTTソフトウェア(株), (株)NTTデータ, (株)デジタル・メディア・ラボ, (株)オーファンループ, コグニティブ・リサーチ・ラボラトリーズ(株), NTTアドバンステクノロジー(株), (有)ミネルウェア企画, NTTインテリジェントテクノロジー(株), (株)シー・エス・イー, NTTコムウェア(株), NTTラーニングシステムズ(株), 日本マーキュリーコンピュータシステムズ(株), 日本オラクル(株), 富士通アドバンスソリューションズ, (株)リアリオン, (株)リアルビジョン, (株)ロベ, 日本テレマティクス(株), (株)サンモアテック, (株)エム研, (株)エイシー・エス, (株)アイ・ビー・アイ・システムズ(株), ジェンシーエヌ(株), 翔泳社, (株)ベストロン, 日本エリクソン(株), (株)テレコムコミュニケーションズ, シルトロイクテクノロジー(株), 日本インターネットテレビジョン, (株)サバーネットワークカスタム, テクノジー(株), 日本ヒューレット・パッカード(株), ノベル(株), シスコシステムズ(株), シーエムシージャパン(株), グローバルソリューション(株), 新日鉄ソリューションズ(株), 日立通信システム(株), グルー・オン・パートナーズ(株), 伊藤忠テクノサイエンス(株), アットホームジャパン(株), (株)NHKコンピュータサービス, (株)セラーテムテクノロジー, コンパックコンピュータ(株), 三菱電機インフォメーションシステムズ(株), SecureSoft, Inc., (株)エクオス・リサーチ
- 印刷・出版: 日本経済新聞社, ヨンタ印刷(株), 凸版印刷(株), 大日本印刷(株), (株)インプレス, (株)角川書店, 星光社印刷(株), 三美印刷(株), 医歯薬出版(株), (有)ひつじ書房, NHK出版(日本放送出版協会), (株)京都新聞, (株)新潟日報社, 高知新聞社, 産経新聞社, フレジデント社, 東京電機大学出版局
- コンテンツプロバイダ・クリエイター: びあデジタルコミュニケーションズ(株), (株)アイ・エム・ジェイ, (株)オンラインミュージック, デザインエンクチェンジ(株), For more convenient AV life, クリプトン・フューチャー・メディア(株), (株)デザイン, (株)プラザクリエイト, (株)博報堂, (株)エフエム東京, (有)インハラ, グランスフィア(株), (株)フライエイト・レコーズ, 日本美術著作権連合, (株)ミュージックエポポート, (株)ムラカミソリューションズ, 演奏家権利処理合同機構, (株)クリーク・アンド・リバー社, (株)エフエムジャパン, 株式会社キヤステイ, (株)アクアキャスト, (株)パナ・エンタープライズ
- その他: 柳原弁護士, Enpia Systems Co., Ltd, ACT Cinemage Group, MarkAny Inc, CacheVision, eMotion, Inc, ContentGuard, OverDrive, Inc, Institute for Information Industry

(下線は幹事企業です。)

第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

# コンテンツIDの概要



## コンテンツIDの概要

### コンテンツIDの枠組み

- コンテンツに付与されたユニークな識別子
- コンテンツとその流通に関する属性を記述したメタデータセット  
権利処理, 売買, 課金等, 流通の各局面で参照される

バインド

デジタル  
コンテン  
ツ



コンテンツID

メタデータ

コンテンツ登録番号  
(=ユニーク識別番号)

ユニーク識別子(ID)

著作物属性  
性 作者, タイトル  
キーワード 等

コンテンツに関する  
メタデータ群  
(制作/デジタル化時に設定)

著作権属性  
性 権利者, 権利内容, 等

ライセンス・流通属性  
利用許諾条件  
流通履歴  
ロイヤリティ分配情報 等

流通に関する  
メタデータ群  
(出版/公開時に設定)

システム制御属性

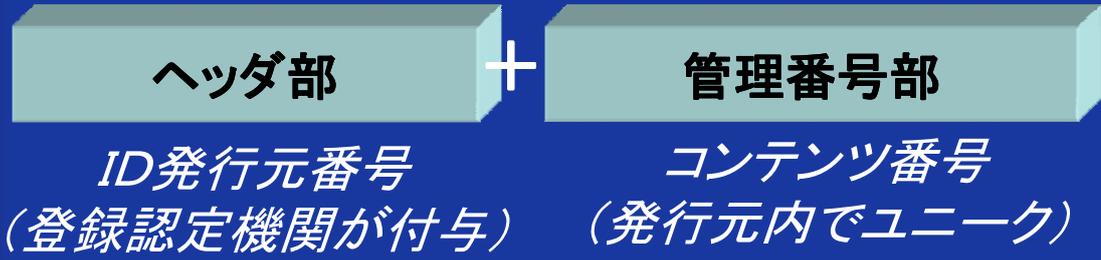
デジタル署名  
電子透かし情報 等

セキュリティ等の用途

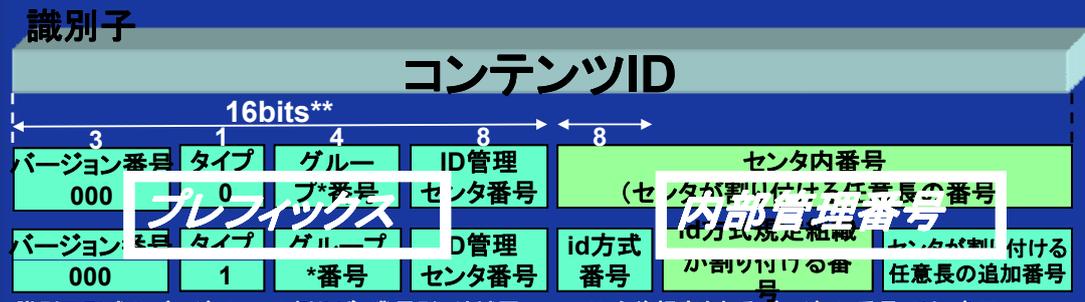


# コンテンツID(識別子)の形式

## <構成イメージ>



## <詳細構成>



第10回 cIDf総会



識別子形式のバージョン  
001-111はリザーブ

\* 例えば、業界別、地域国別、応用別

\*\* 今後規定されるバージョン番号では、各フィールドの長さやフィールドそのものが変更の可能

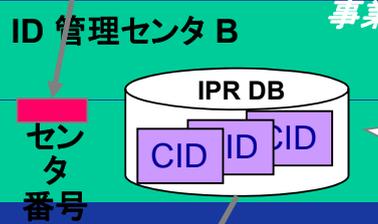
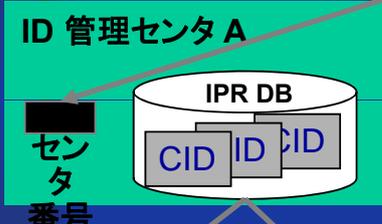
(C) Copyright 2001 - 株式会社 cIDf

# コンテンツIDの発行の仕組み

ID管理センタの登録認定機関  
(ID管理センタ番号を管理・払出し)

ID発行元

例: コンテンツホルダ, 権利者団体



RA は各ID管理センタに  
“センタ番号”を発行  
(非営利公益法人, 1つ)

例: 権利仲介業者, 配信事業者, 政府/自治体

多数の商用  
ID管理センタが存在  
(営利or非営利団体)



クリエイタ & 著作権利用

クリエイタ & 著作権利用

クリエイタ & 著作権利用

CID  
“IDセンタ管理 No.”の唯一性をセンタ番号によって保証

クリエイタ及び著作権利用者は、複数のID管理センタから選択可能

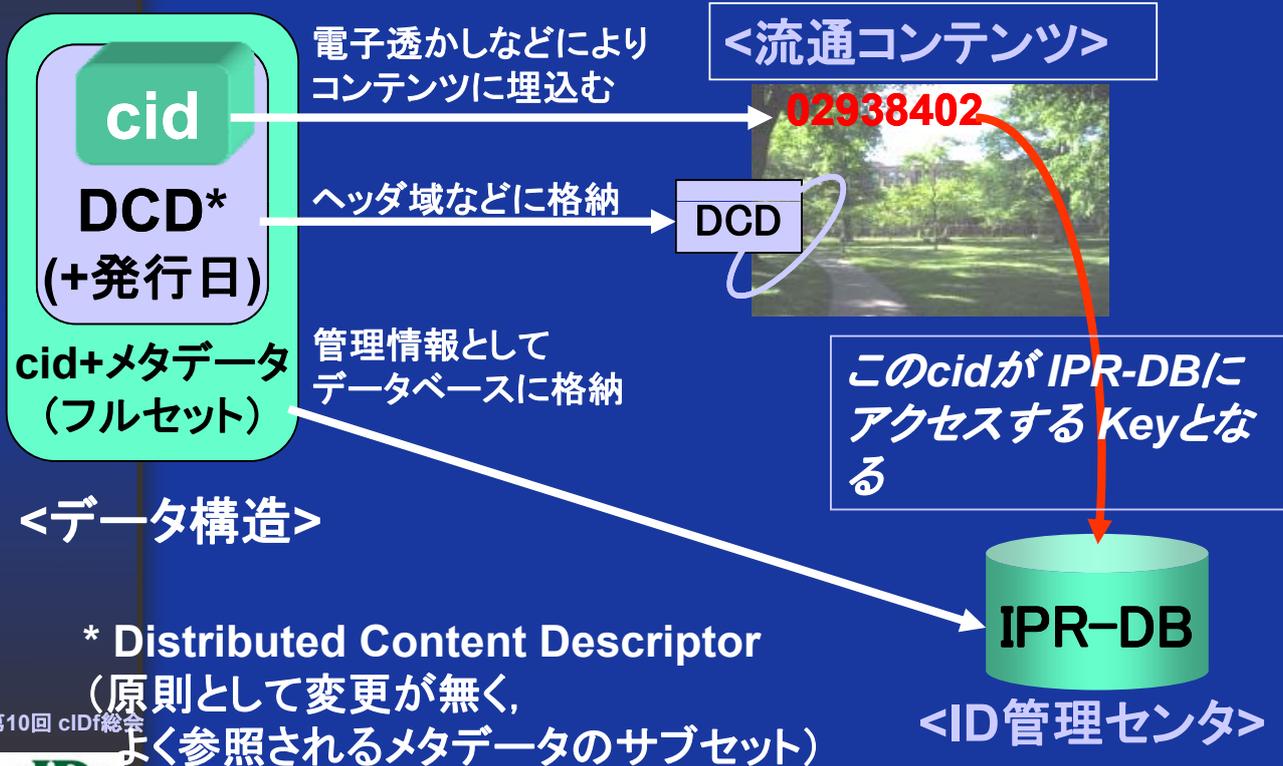
プレフィックス+内部管理番号

第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

# IDから管理情報を得る仕組み



第10回 cIDf総会

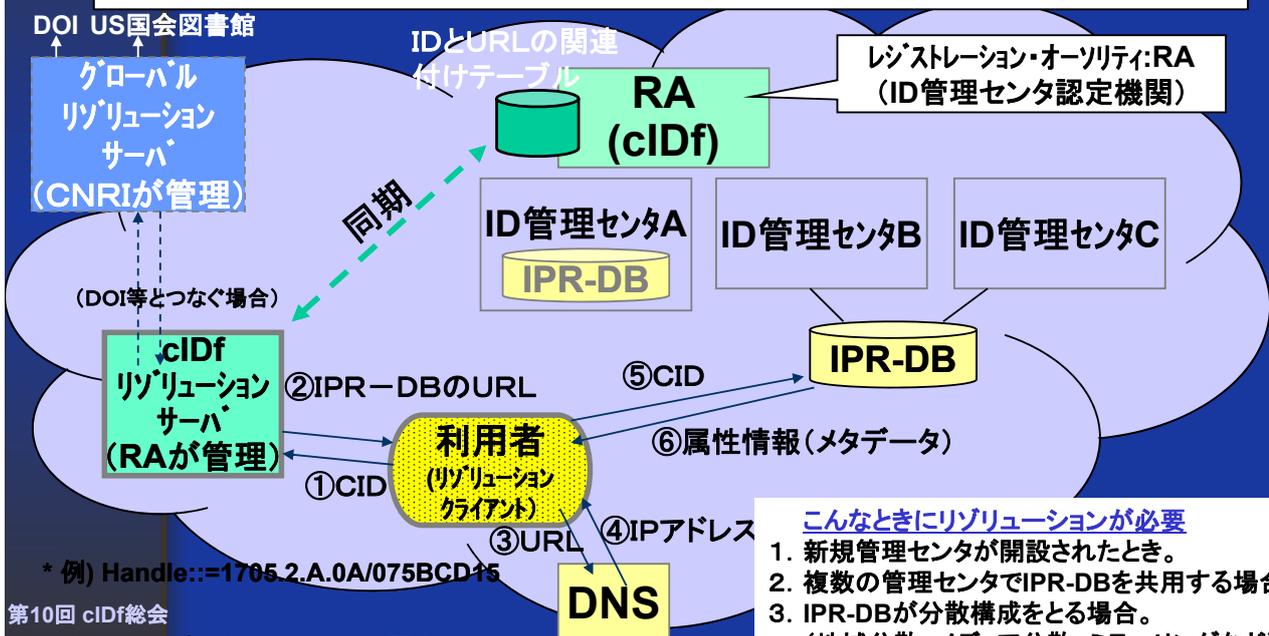


(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

15

# コンテンツIDリゾリューション

コンテンツID(CID)から、そのメタデータを管理するIPR-DBのロケーションを特定すること。 *RAのサービスとしての提供を想定*



第10回 cIDf総会



ハンドブック...CNRI開発 (<http://www.handle.net/>)

(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

16

# コンテンツの識別方式

各コンテンツに、ユニークな識別番号(ID)を付与



コンテンツの利用状況把握のためには、コンテンツに識別番号(ID)がくっついていなければならない。

## 識別番号(相当)のコンテンツへのバインド方法

- ファイル名  容易に書き換えられてしまう
- ヘッダ域
- 電子透かし(Watermark)
- 電子指紋(Fingerprint)

第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

17

# コンテンツIDのコンテンツへの 強固な結合

## cIDfオプション

- 電子透かし
  - IDはコンテンツ実体の中に埋め込まれる
  - 取り除くことはできない
- DCD (Distributed Content Descriptor)
  - ID はコンテンツファイルのヘッダ域に埋め込まれる
  - メタデータの一部を埋め込むことも可能
- その他
  - 研究中

第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

18

# コンテンツIDの付与単位

- 著作権、およびオリジナリティを主張する作品
  - 自己主張制作品
- 商品として売買対象にする作品
  - 売買商品
- 作品としてまとまった単位: 出版1冊、映画1本
  - 作品の1単位
- 作品の最小単位: それ以上に分解すると作品の体を成さなくなる、1ページ、1駒、1カット、1句、1シーン等
  - 作品の最小単位
- 編集著作物に新たなID
  - 再編集作品／複合作品
- → IDの付与単位は著作者の意思(管理したい単位)に委ねられる

第10回 cIDf総会

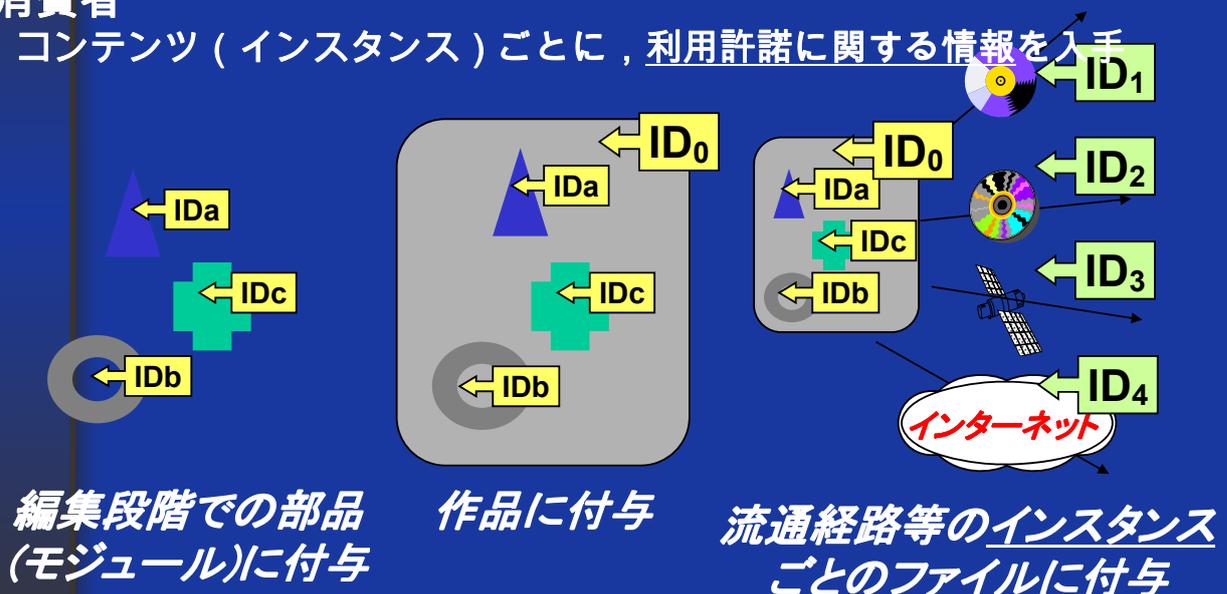


(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

19

# コンテンツIDの付与階層

- 権利者/流通事業者  
コンテンツ (インスタンス) ごとのマーケティング情報を収集
- 消費者  
コンテンツ (インスタンス) ごとに、利用許諾に関する情報を入手



第10回 cIDf総会



注) 複数の作品群に対して1つのIDを付与することも可能

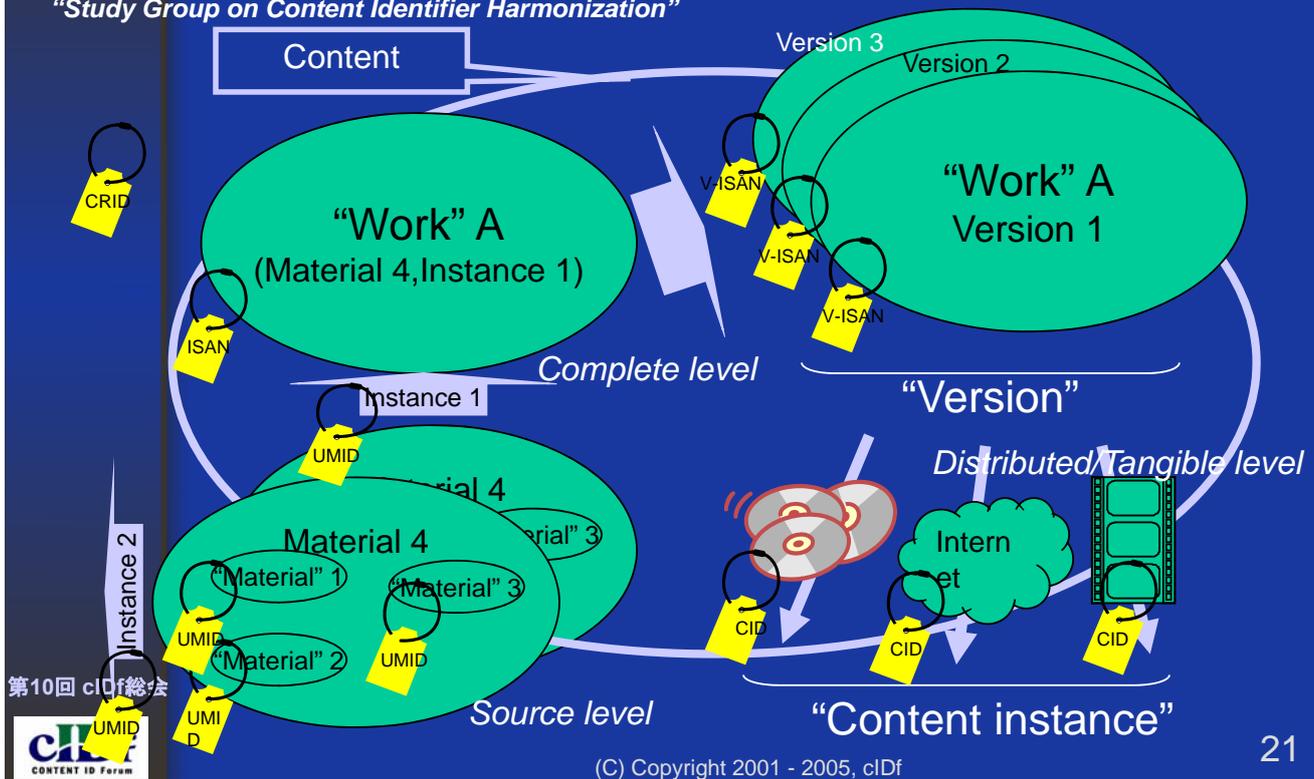
(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

20

# SMPTEにおけるコンテンツID の認知

SMPTE R30 Technology Committee  
"Study Group on Content Identifier Harmonization"

Modified/Derivation level



第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

(参考)

## MPEG-21におけるコンテンツ 識別子の相互運用標準(DII)

標準文書番号: ISO 21000-3

ID体系

URI (概念論) → URN → 既存のIDシステムは、以下の形式を利用

`urn:mpegRA:mpeg21:dsss:nnn`

*sss* はIDシステム名(将来のIDシステム名登録はRA  
*nnn* 制各IDシステムでのユニークコード)

例 `urn:mpegRA:mpeg21:doid1735.002e/0001`

デジタルコンテンツ識別子の標準化

登録  
ID

Identification System	Identifier (.sss)
<b>Content ID Forum – cIDf</b>	<b>cid</b>
Digital Object Identifier	doi
International Standard Audiovisual Number – ISAN	isan
International Standard Book Number – ISBN	isbn
International Standard Recording Code – ISRC	isan
.....	
Version identifier for ISAN – V-ISAN	visan

第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

(参考)

# 世界のコンテンツ識別子標準

識別子名	管理団体	解説	関連ホームページ
1 <b>Content ID</b>	<b>cIDf</b> (Content ID Forum)	コンテンツへのID埋め込みを意識したコンテンツへの番号付けとメタデータ管理.	<a href="http://www.cidf.org/">http://www.cidf.org/</a>
2 <b>CRID</b> (Content Referencing ID)	<b>TV-Anytime Forum</b>	コンテンツ検索の過程ですでてくるコンテンツ参照のためのID.	<a href="http://www.tv-anytime.org/">http://www.tv-anytime.org/</a>
3 <b>DOI</b> (Digital Object Identifier)	<b>IDF</b> (International DOI Foundation)	デジタルオブジェクトに対するID.	<a href="http://www.doi.org/">http://www.doi.org/</a>
4 <b>UPC</b> (Universal Product Code)	<b>UCC</b> (Uniform Code Council, Inc.)	製品に対するID. UPCは米国とカナダで, その他の国ではUPCと互換性のあるEAN(European Article Numbering)が用いられる.	<a href="http://www.ean-int.org/council.org/">http://www.ean-int.org/council.org/</a>
5 <b>ISAN</b> (International Standard Audiovisual Number)	<b>ISO TC46/SC9/WG1</b>	AV作品に対するID.	<a href="http://www.nlc-bnc.ca/iso/tc46sc9/wg1.htm">http://www.nlc-bnc.ca/iso/tc46sc9/wg1.htm</a>
6 <b>ISBN</b> (International Standard Book Number)	<b>ISO TC46/SC9/WG4</b>	書籍に対するID.	<a href="http://www.isbn.org/">http://www.isbn.org/</a>
7 <b>ISRC</b> (International Standard Recording Code)	<b>IFPI</b>	音楽の録音原版に対するID.	<a href="http://www.ifpi.org/isrc/index.html">http://www.ifpi.org/isrc/index.html</a>
8 <b>ISSN</b> (International Standard Serial Number)	<b>ISSN International Centre</b>	雑誌, 新聞, 報告書, 年鑑のような定期刊行物に対するID.	<a href="http://www.issn.org/">http://www.issn.org/</a>
9 <b>ISTC</b> (International Standard Textual Work Code)	<b>ISO TC46/SC9/WG3</b>	小説などの抽象的な作品(シナリオ)に対するID.	<a href="http://www.nlc-bnc.ca/iso/tc46sc9/wg3.htm">http://www.nlc-bnc.ca/iso/tc46sc9/wg3.htm</a>
10 <b>ISWC</b> (International Standard Work Code)	International ISWC Agency ( <b>CISAC</b> )	楽曲などの音楽作品に対するID.	<a href="http://www.iswc.org/">http://www.iswc.org/</a>
11 <b>ONIX</b> (ONline Information eXchange)	<b>EDIREUR</b> (international group for electronic commerce in the book and serials sectors)	電子出版用のID及びメタデータ.	<a href="http://www.editeur.org/onix.html">http://www.editeur.org/onix.html</a>
12 <b>V-ISAN</b> (Version Identifier for ISAN)	<b>SMPTE</b> (Society of Motion Picture and Television Engineers), ISO TC46/SC9/WG1	TV番組へのID. ISANと連動した仕様となっており, かつてはUP ID (Unique Program Identifier)と呼ばれていた. なお, SMPTEは, UMID (Unique Material Identifier)と称するコンテンツ素材のための識別子も規定.	<a href="http://www.smpte.org/">http://www.smpte.org/</a>

第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

23

## コンテンツIDとメタデータ

識別子

メタデータセット

cIDf  
仕様書

CID

cIDf メタデータセット

[プロフィール0](#)

DOI/IDF メタデータセット

[プロフィール1](#)

Dublin Core メタデータセット

[プロフィールx](#)

TV Anytime メタデータセット

[プロフィールy](#)

第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

24

# cIDfのメタデータ

・約 200項目  
XML文書により交換

ユニーク コード	コンテンツ 属性	権利属性	権利運用 属性	流通属性	分配属性	自由領域	システム 管理情報
-------------	-------------	------	------------	------	------	------	--------------

- ・ **ユニークコード**: コンテンツに一意に付与される番号であり, “ID管理センタ番号”, “ID管理センタ内番号”, “バージョン/タイプ”等から成る, **コンテンツID**.
- ・ **コンテンツ属性**: コンテンツ(=作品, 商品)の制作者, 内容, 種別, 分類等に関する情報を表す.
- ・ **権利属性**: コンテンツの権利関係を表記する. 問い合わせ先等.
- ・ **権利運用属性**: 権利の許諾・委任・譲渡に関する情報. 権利契約情報等.
- ・ **流通属性**: コンテンツの利用条件, 流通管理情報.
- ・ **分配属性**: 売買収益の分配に関する情報.
- ・ **自由領域**: ID管理センタに任される自由領域. 流通(=売買)の履歴情報等, コンテンツIDの付加価値を増大させることが可能な自由活動領域.
- ・ (システム管理情報): ID管理センタの運用に必要な非公開情報.  
(例) デジタル署名, 電子透かし情報, チェックデジット, コンテンツHash値, 等.

第10回 cIDf総会



必要なもののみを利用すればよい。

(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

25

# コンテンツIDの 枠組みの運用

# RAの役割

- ID管理センタを登録認定し、ユニークなセンタ番号を払い出す (**登録認定**)
- 流通するコンテンツに対し、何処に問い合わせれば、著作権情報等のメタデータが得られるか、という情報を提供する (**リゾリューション**)

注) 他の組織もリゾリューションサービスを提供することができる



**cIDf レジストレーション  
オーソリティ(RA)**

(財) デジタルコンテンツ協会(DCAj)が運用中

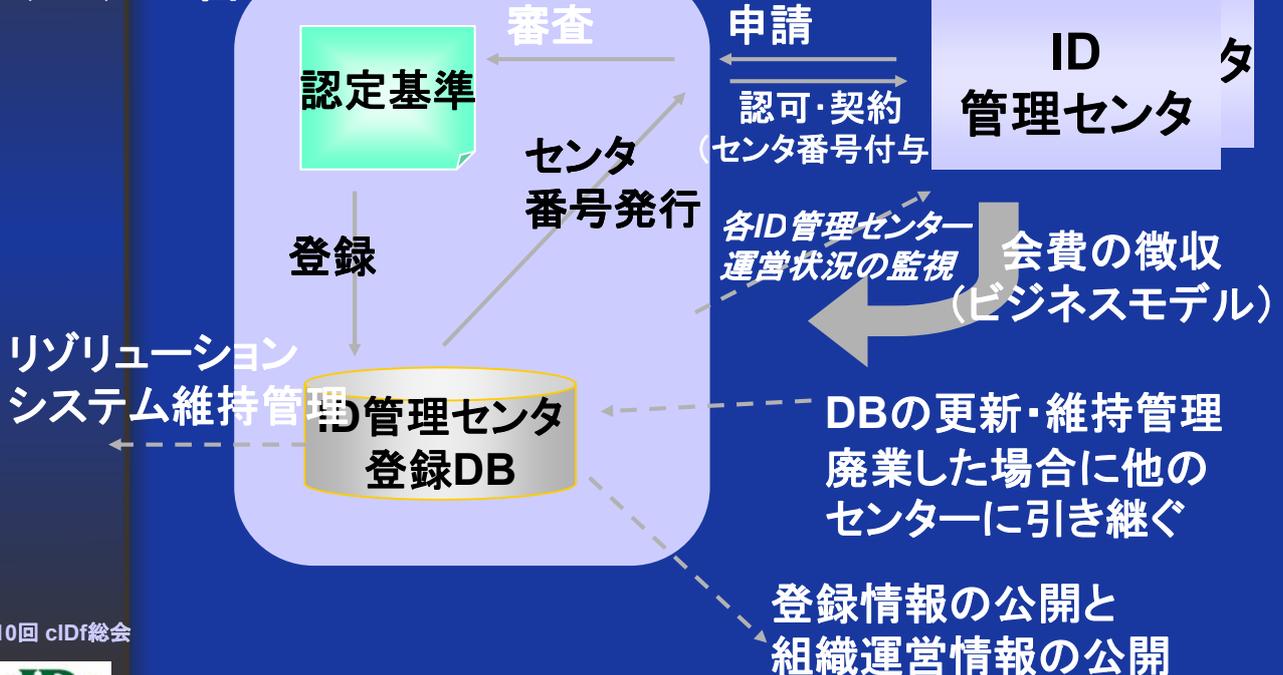
<http://www.dcaj.org/news/cid-ra/index.html>

第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

# 世界の共有資源 (ID) の管理 RAの登録認定業務



第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf



# コンテンツIDの 利用例



## コンテンツIDの利用例

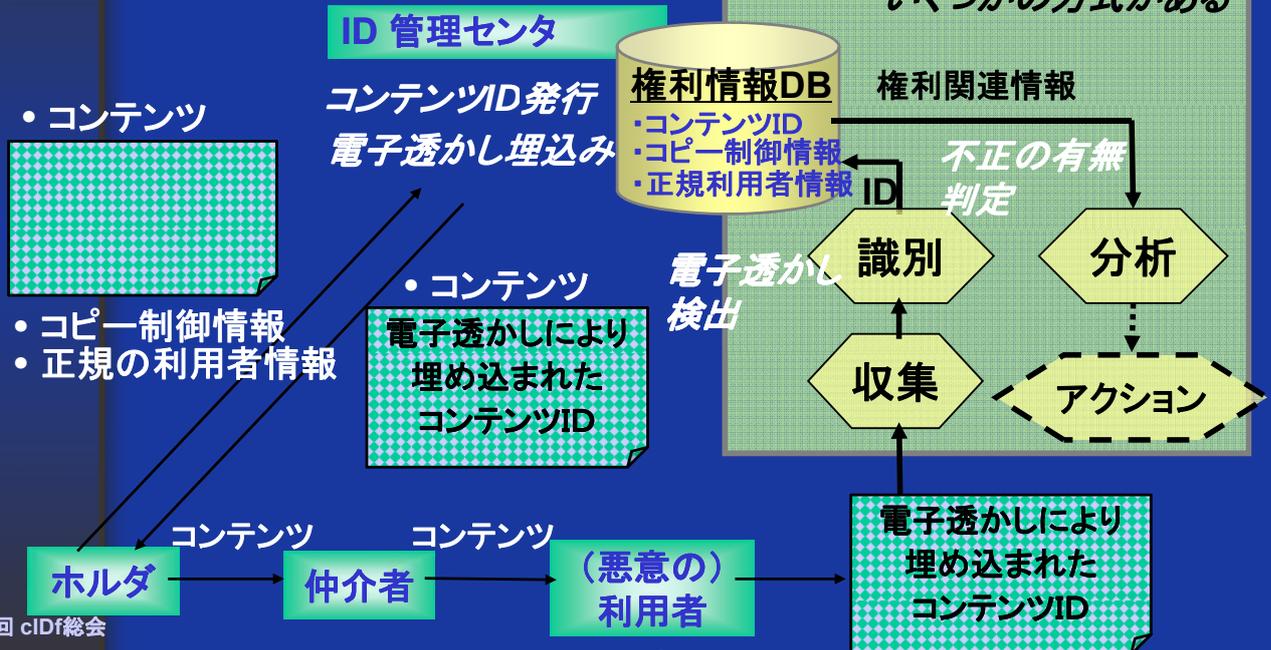
- ビットバレー実験(総務省)
- cID-RA開発と実証実験(DCAj/IPA/経産省)
- MPEG-21コア実験(ISO/MPEG-21)
- CDN JAPAN実証実験(民間ブロードバンド環境)
- 権利クリアランス実験(総務省)
- EduMart実証実験(総務省)
- デジタルコンテンツの流通に関する技術開発(TAO)
- ID付きコンテンツ流通統合プロジェクト(IPA)
- オキナワカルチャーアーカイブ
- 京都, 山形のデジタルアーカイブ
- NPO コンテンツ著作権管理推進協議会
- P2Pを活用したコンテンツ流通
- モバイル電子透かし



# コンテンツ不正利用監視の 運用イメージ

～IDと電子透かしを利用する例～

不正利用監視: 利用技術により、  
いくつかの方式がある



第10回 cIDf総会

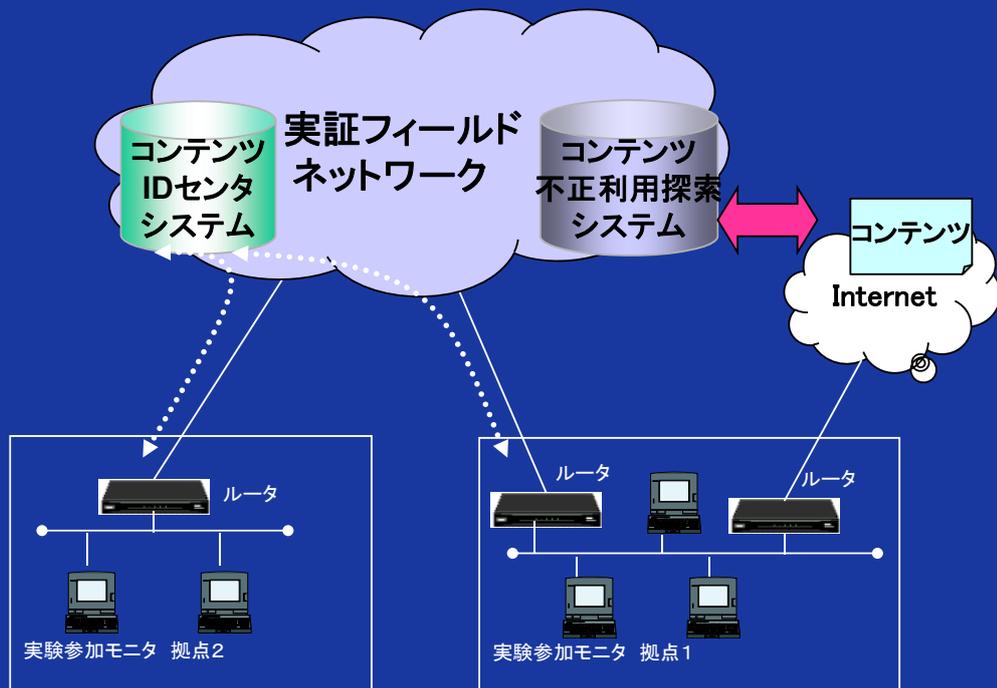


不正コピーのインターネットへの流出

(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

2000年度

# ビットバレー実験

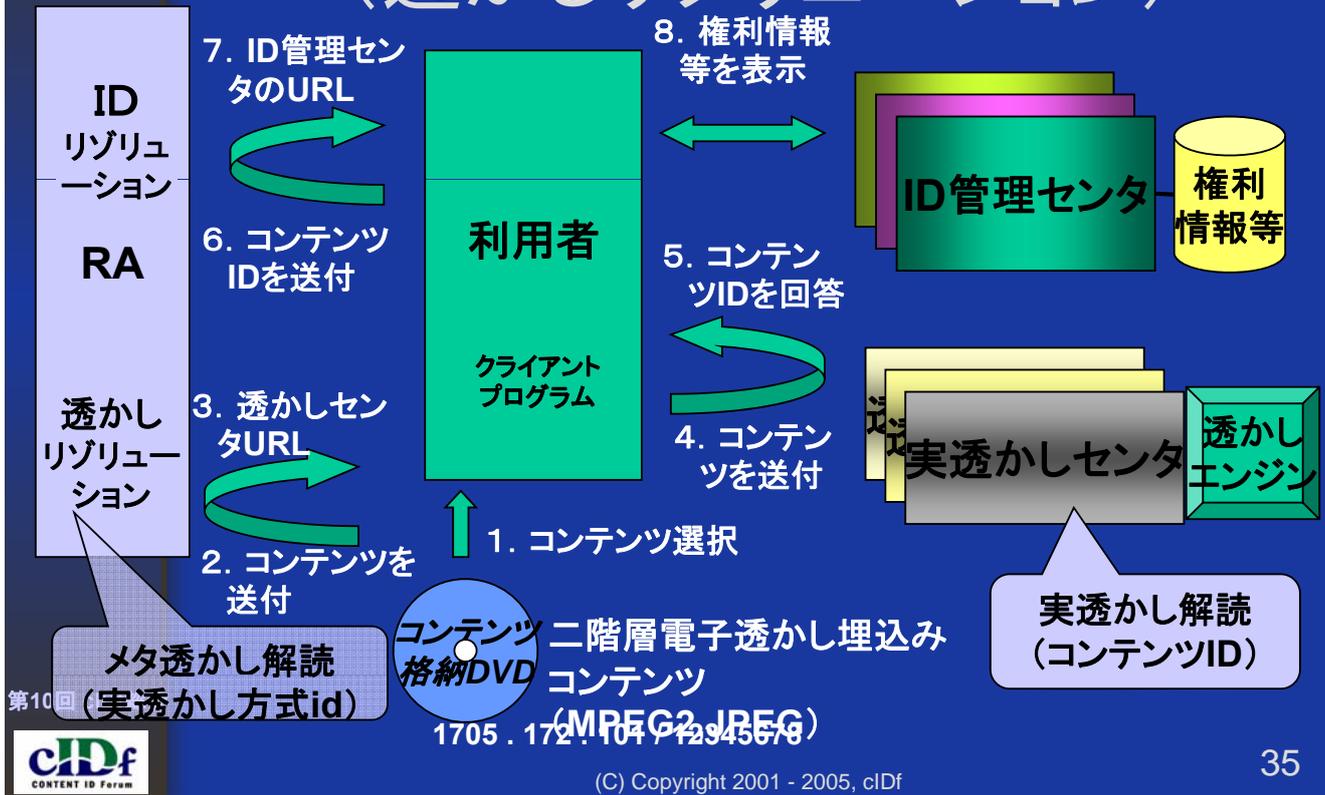


第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

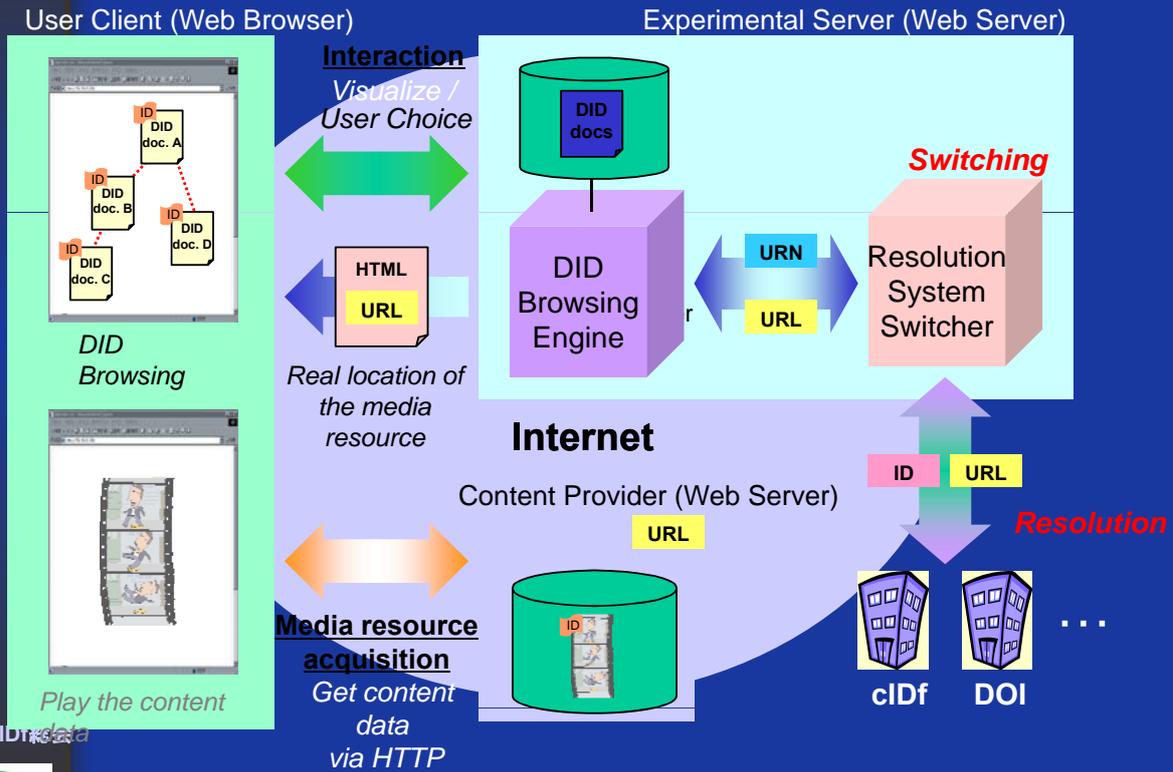
# H13年度cID-RA実証実験 (透かしリゾリューション)



## 実証実験参加者

種別	参加者数	参加者の例
ID管理センタ	13	NHK-EP21、NTTコムウェア、NTT東日本、沖電気、日本オラクル、日本ユニシス、京都デジタルアーカイブ研究センタ、山形県マルチメディア開発センタ、日本経済新聞、大日本印刷、メロディース・アンド・メモリーズ・グローバル、等
実透かしセンタ	8	富士通、マークエニージャパン、日立、NTT東日本、日本ユニシス、SealTronic、山形県マルチメディア開発センタ、等
ユーザ	41	アットホームジャパン、電通国際情報サービス、シャープ、ビデオリサーチ、日本ビクター、パスコ、WOWOW、個人、等
コンテンツプロバイダ	20	アートウェア、NHKソフトウェア、NHK-TS、社会情報研究所、テクネ、デジタルハリウッド、電脳商会、TBS、凸版印刷、ドキュメンタリージャパン、パーソナルメディア、マジ、等

# MPEG-21コア実験

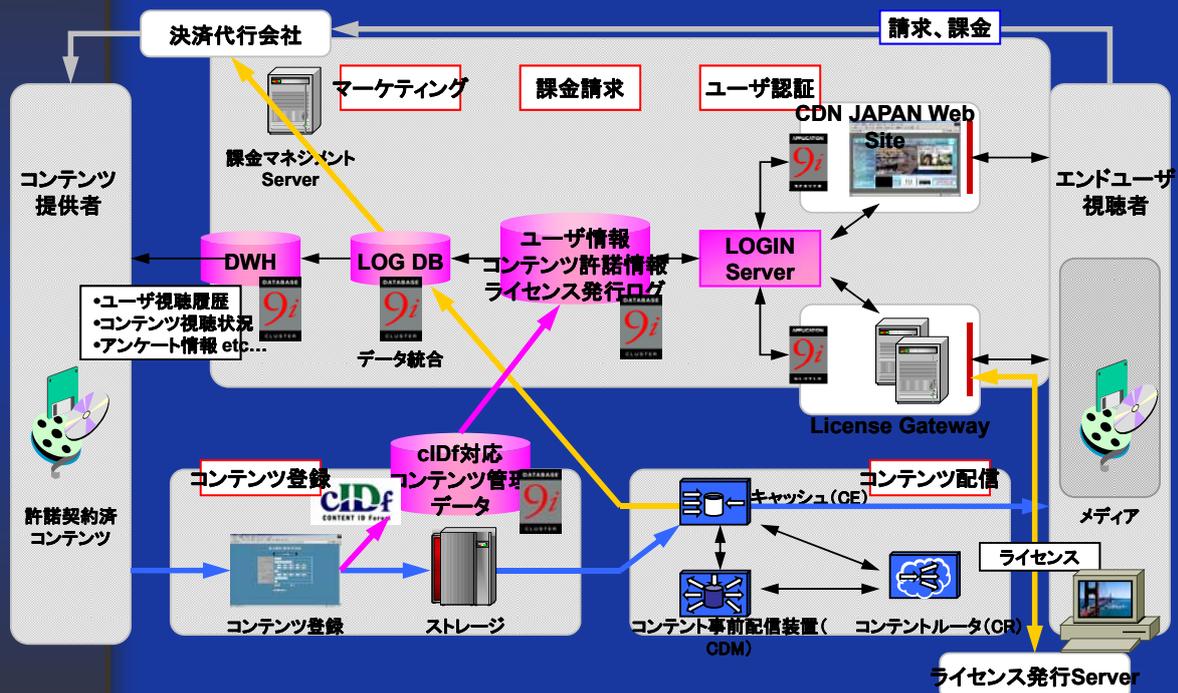


第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

# CDN JAPAN実証実験



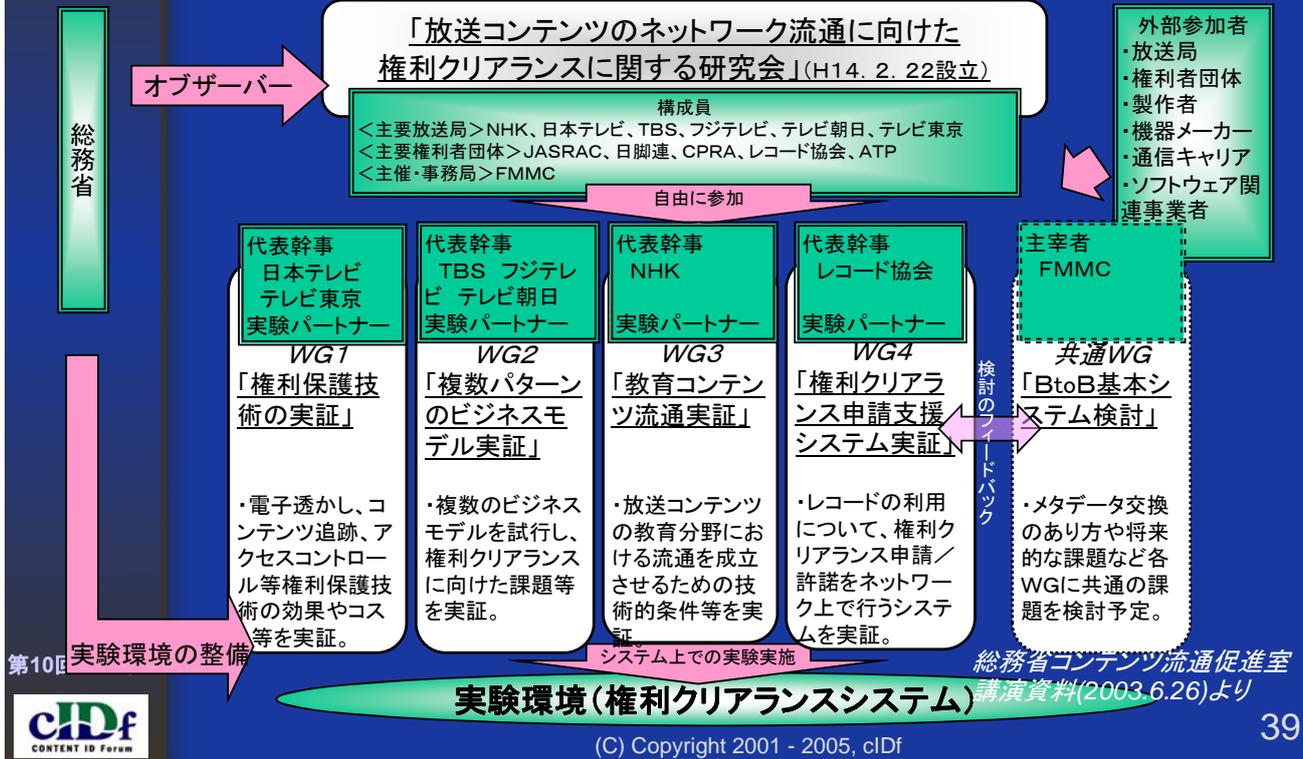
第10回 cIDf総会

第8回cIDf総会(日本オラクル講演)資料より



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

# 官民の協力～権利処理システム実証実験の例～



## J/Meta

### 成果(1) 権利処理の円滑化に資するメタデータ体系の策定 ①-1

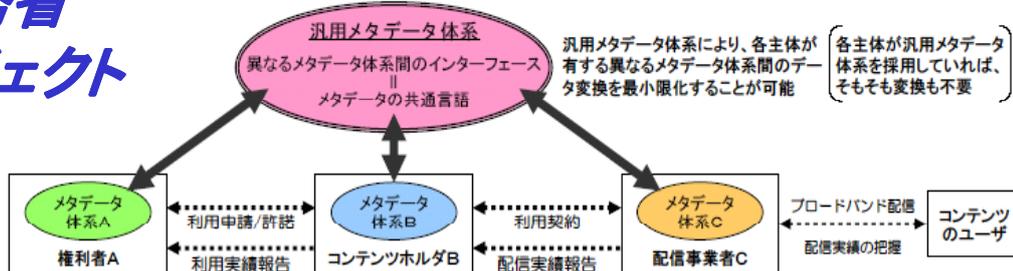
#### ① 汎用メタデータ体系の策定・精緻化

- 権利処理の円滑化に向けては、権利者団体、コンテンツホルダ、配信事業者といったB2Bコンテンツ流通・取引の関係者間で、メタデータを相互に効率的に交換することが必要であり、そのためには、それぞれが使用しているメタデータ体系間の互換性を確保する仕組みの構築が必要。
- そこで、メタデータの互換性を確保する仕組みとして、関係者が共通に利用しうるメタデータ項目群を検討し、メタデータの共通言語として機能する「汎用メタデータ体系」を策定。

- ・汎用メタデータ体系は、P/Meta仕様、Melodies&Memories仕様、TV Anytime Forumメタデータ仕様、cidf仕様等の各規格を基に最小公倍数的に定義
- ・放送利用、インターネット利用等の様々なコンテンツ利用・取引形態に対応した多数のメタデータ項目を含む

- 平成16年度は、3ヶ年の実証実験を通じて得られた知見から、より実ビジネスでの利活用シーンに適した形態へと近づけるべく、メタデータ項目の追加(日本語かなへの対応、権利者の所属団体情報の追加など)や構造の変更(楽曲識別子の複数記述対応など)を施し、結果的に約1,480項目へと絞り込んだ。

総務省  
プロジェクト



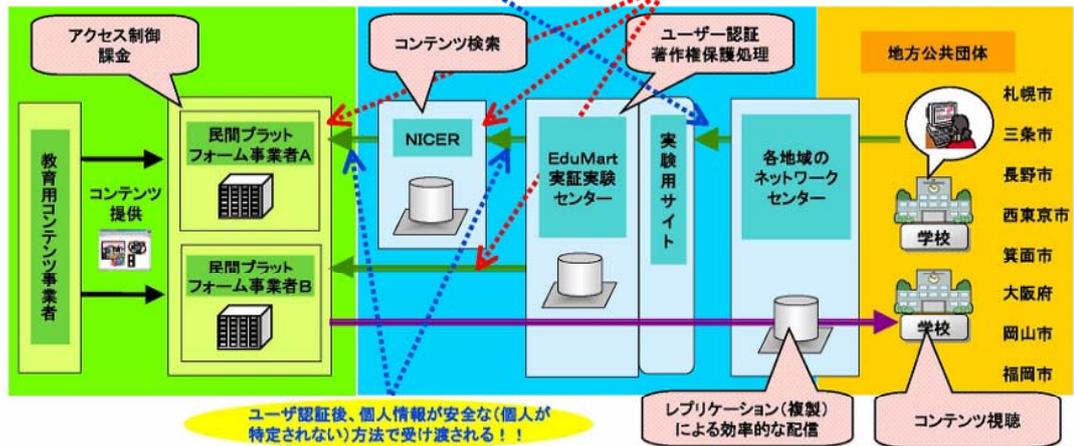
# EduMart実証実験

## EduMart実証実験の概要

別紙2

- 学校教育の情報化の一環として、ネットワーク型教育用コンテンツの流通のためのプラットフォームの開発・実証実験 (EduMart(エデュマート)実証実験)を行い、全国8地域において、本格的なコンテンツ配信を実施。
- 本実証実験を通して、
  - ① 個人情報の保護、コンテンツの著作権管理、異なるシステムを連携するためのインターフェイスの構築・運用
  - ② 効率的なコンテンツ配信を実現するネットワークシステムの検証等を進める。

EduMart実証実験センターで1度サインオン(認証)すれば、その後、サインオン不要!!



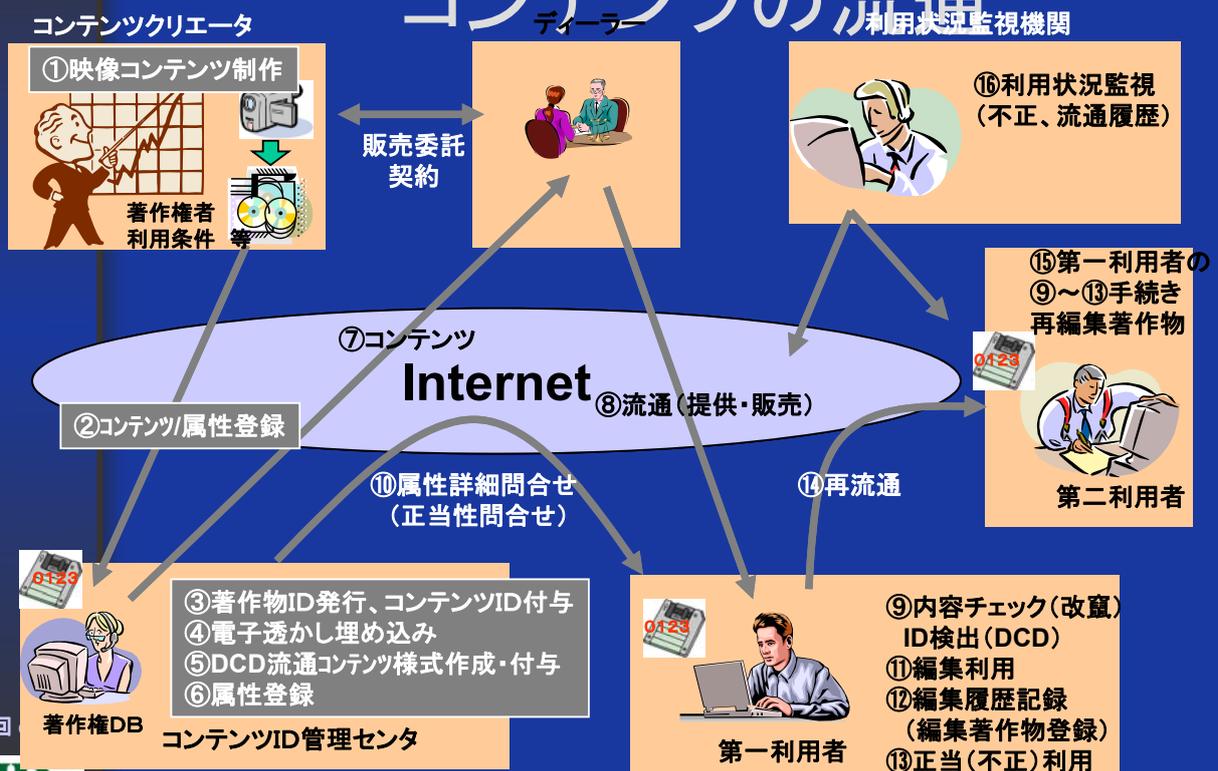
第10回 cIDf総会



[http://www.soumu.go.jp/s-news/2003/030627\\_2.html](http://www.soumu.go.jp/s-news/2003/030627_2.html)

(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

# TAO研究開発: デジタルコンテンツの流通



第10回



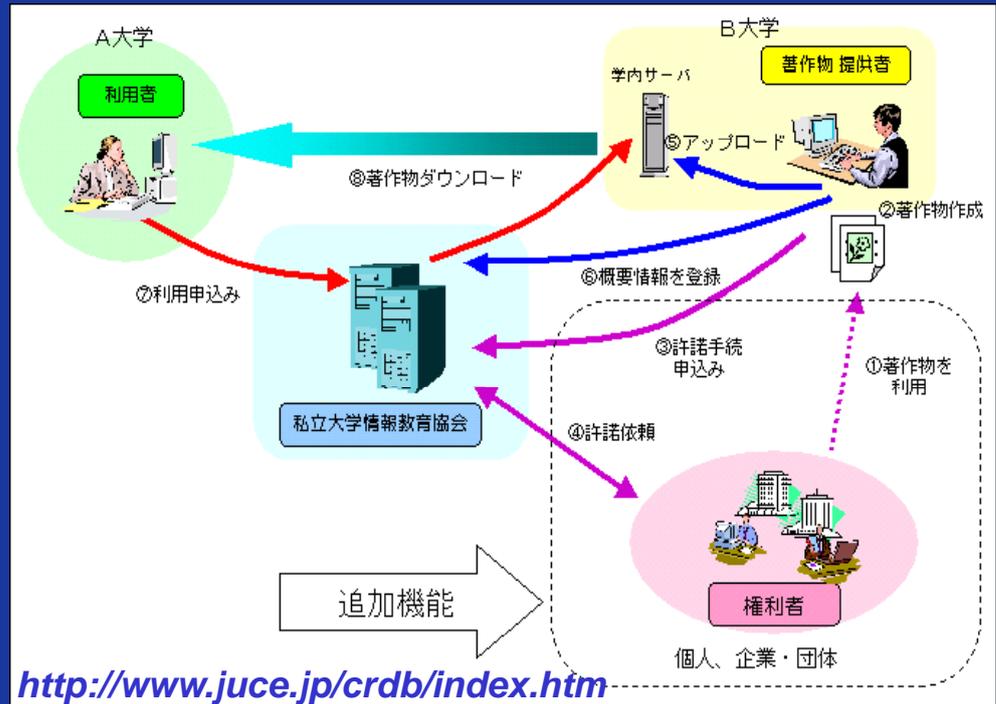
(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

# 大学等電子著作物権利処理事業

社団法人 私立大学情報教育協会

<http://www.juce.jp/index2.html>

大学・短期大学における著作物を対象とする、オンラインによる著作物権利処理の代行。あらかじめ協会に利用許諾を委託し、著作物の情報や権利者情報を登録。



<http://www.juce.jp/crdb/index.htm>

第10回 cIDf総会

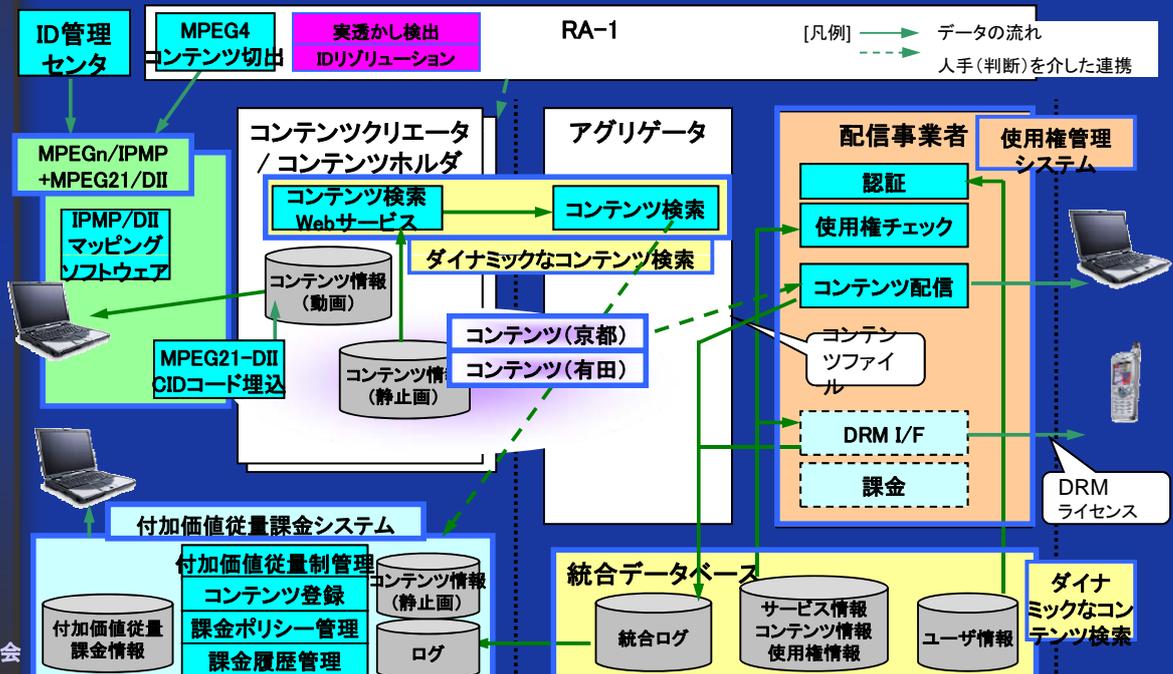


(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

43

2002年度

# IPA統合プロジェクトにおける機能構成



第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

44

# オキナワカルチャーアーカイブ

**見て、聴いて、読む沖縄。**

沖縄の伝統文化、芸能、暮らしが検索できるサイトです。ムービーやサウンドも満載！



このページをお楽しみいただくためにはマクロメディアフラッシュが必要です。

このサイトはIE5.5および6.0で動作確認を行っていますが、ご使用の環境によってはレイアウトにずれが生じる場合があります。

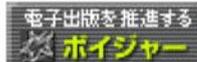
[アーカイブトップへ](#) [バリアフリーページへ](#)

当サイトへのリンクについて

那覇市平成14年度伝統文化デジタルアーカイブ事業

ご意見・お問い合わせ [it@city.naha.okinawa.jp](mailto:it@city.naha.okinawa.jp)

Copyright(C)2003 Naha city office All rights reserved.



第10回



(C) Copyright 2001 - 2005, CIDf

# 京都デジタルアーカイブ

●京都の文化財を中心とする画像、動画、音声のデジタルアーカイブ

第10回 CIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, CIDf

# 山形県デジタルコンテンツ 利用促進協議会

• 民俗芸能や伝統工芸、風景などの映像のデジタルアーカイブ

第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

# NPOコンテンツ著作権 管理協議会

• 佐賀県を中心に活動  
• 有田焼などの画像のデジタルアーカイブ

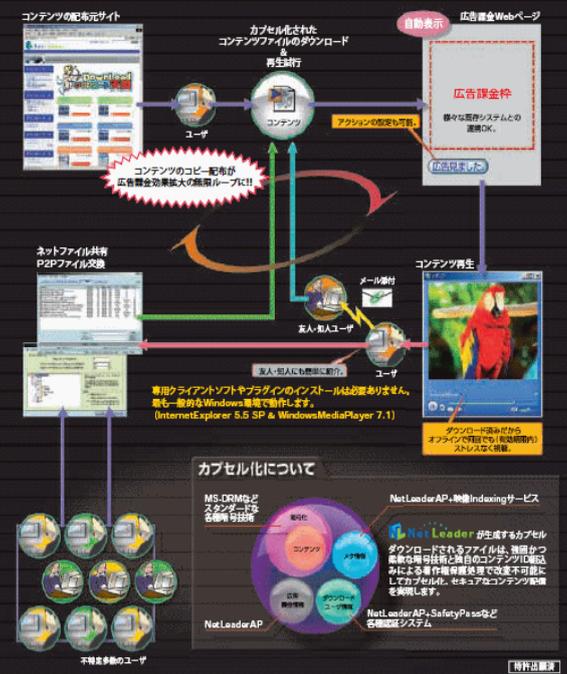
第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

# NetLeader P2Pを活用したコンテンツ流通

様々なコンテンツ流通ルートにセキュア、効率的に利用する配信システム。  
コンテンツの権利を保護しながら、最小の投資で最大の広告・課金効果を実現!!



出典:  
NetLeader公式パンフレット2002  
<http://netleader.mtf.ntt.ocn.ne.jp/document/index.html>  
(NTTコミュニケーションズ株式会社)

第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

49

## まとめ

- コンテンツのネットワーク流通は著作権に関する懸念などのため時間がかかっている
- 技術仕様は一通り完成したので、今後は会員各自によりその利用を促す
- 各業界ごとの議論が活発化してきたので、超業界組織による先導的な役割は終了した

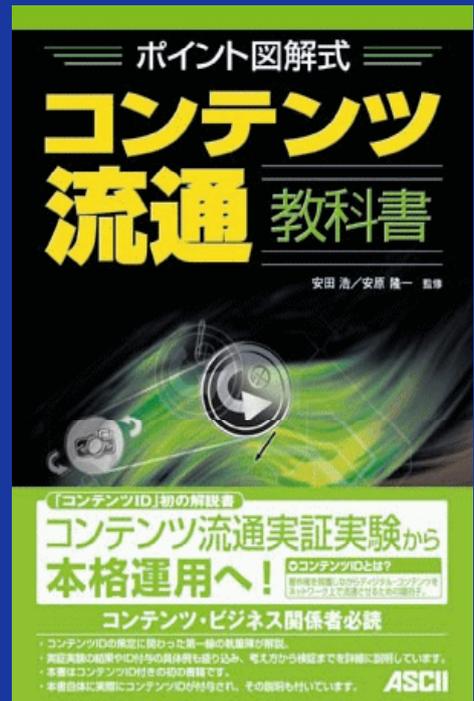
第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf

50

# ありがとうございました



2003年6月発売

51

第10回 cIDf総会



(C) Copyright 2001 - 2005, cIDf